

# 行事活動を通しての地域との連携

## 取り組み内容のポイント

地域住民に当施設をよく知って、身近に感じ、いつでも出かけていただけることが出来る施設であり、緊急時にはお互いが協力体制を取れるような施設であることを目指し取り組んでいる。

鳥取県

社会福祉法人

こうほうえん

〒684-0071 鳥取県境港市外江町2680番地

TEL：0859-44-0419 FAX：0859-44-0419

## ❖法人設立年

昭和61年

## ❖法人実施事業

①経営施設数合計：16施設169事業

②経営施設・事業【種別毎の数】：

特別養護老人ホーム…7、軽費老人ホーム…5、短期入所…7、通所介護（老人デイサービス事業）…18、小規模多機能型居宅介護事業…5、生活支援ハウス…4、認知症対応型共同生活介護…8、老人居宅介護等事業（訪問介護）…4、介護老人保健施設…3、訪問看護事業…3、訪問入浴…1、福祉用具貸与…2、居宅介護支援…5、地域包括支援センター…3、高齢者向け優良賃貸住宅…1、高齢者専用賃貸住宅…2、特定施設入所居生活介護…5、通所リハビリテーション事業…5、短期入所療養介護事業…3、リハビリテーション病院…1、保育所…6、障害福祉サービス事業…5

## ❖法人の理念・経営方針

<理念>

「わたくしたちは 地域に開かれた 地域に愛される 地域に信頼される『こうほうえん』を目指します」

<基本方針>

「わたくしたちは サービス業のプロとして 正しい情報を伝達し 自分が受けたい 保健・医療・福祉サービスの 提供・改善に努めます」

## ❖取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款記載の有無：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

## ❖取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

デイハウス とのえの家

【施設種別及び利用定員】

通所介護 19名

## ❖活動内容

◇活動開始年：平成16年6月

◇活動の対象者：地域住民、ご利用者

◇活動の頻度・時間：

月1回 1回当たり1～2時間

## ◆活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人では、「地域に開かれた、地域に愛される、地域に信頼される」施設・サービス提供づくりを理念に掲げている。

平成16年2月に地域に根ざした施設を目指して、古い民家を改修して「デイハウスとのえの家」開所。

開所当初は地域（外江町）のご利用者も少なく、また地域住民とも挨拶を交わす程度で困惑していた時に、開所前よりお世話していただいた近所の方より「ちょっと言い難いんだけど…」と話を切り出され、「近すぎるから通わせるのは…」「懐かしい家だから行ってみたいけど、何にも無いのに行けないよね…」など普段地域の方が感じておられることを聞くことができた。地域の中に施設が浸透されていない状況であった。職員が地域に出かけ、また施設に来ていただき「デイハウスとのえの家」を知っていただく事、身近に感じていただく企画として「パンパーティー」の開催をした。施設内で交流行事をすることでご利用者やご家族、地域住民が集まりできあがったパンを食べながら楽しいひと時を過ごし定着に結びついた。

そして、夏祭りや秋祭りで子供たちとの交流、防災協定を締結し地域住民と共に防災訓練実施など色々な展開に至った。

## ◆実施内容

### ①パンパーティーの開催

《通常》 ご利用者と共に案内状作成、配布、パン（ロールパン・チョコパン・アンパン等）作りを行い、当日来苑して下さった方々の健康チェック（血圧、脈拍、体温、あかんべーチェック、その他相談）を行い、その後一緒にリハビリ体操を行いできたてパンと飲み物でティータイムを楽しむ。  
《演芸》 公民館活動で行われている踊り・歌などの演芸の発表の場として活用していただき、その後通常通りのパンパーティーを実施。

《介護教室》 職員が講師となり身近な事についての勉強会を

行い、その後通常のパンパーティーを実施。

### ②夏祭り・秋祭りの開催

夏祭り（7月か8月）…子供たち中心で、大人も楽しめるように工夫している。

秋祭り（10月か11月）…文化祭も兼ねてご利用者の作品展示・1年間の思い出掲示等行い施設内での様子を紹介している。

### ③防災訓練

地域の方と一緒に年2回実施している。

## ◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

- ・職員とご利用者と一緒に一軒ずつ案内状を配布する事で、地域の方々と直接お話が出来るようになり、施設に訪れてくださる方が増えてきた。
- ・公民館活動の発表の場になった。
- ・地域住民を対象にアンケート調査を実施、その結果（健康相談・介護予防教室）につながった。
- ・自治会活動（運動会出場依頼・ソフトボール大会出場依頼・公民館祭り手伝いなど）への参加も増えた。
- ・2010年8月31日付けで、小さな単位（1つの区）ではあるが、防災協定締結するに至った。

## ◆今後の展開

開所後8年目を迎え地域の中にやっと小さな芽が芽生えたように感じられるようになってきてい



ご利用者と共に案内状配布

る。しかし、まだまだ大きく成長して深く根を張って行かなくてはならないと考える。

「継続は力なり」の言葉通り、今まで続けていることは進化させながら継続し、防災関連においては、協定締結して終わりではなく、今後は協力体制の構築に向けてより一層努力していきたいと考えている。

## ◆主な経費や財源及び人員等

- ・取り組みに係わった職員数 8名  
（職種等：主任相談員、介護福祉士、介護士、看護師）



パンパーティー風景



地域の方と共に防災訓練実施  
（消防署員に指導を受けての消火訓練）